

コシヒカリの草丈は指標値に比べ111%と長くなっています！

1 生育概況

- コシヒカリ・こしいぶきとも草丈は長く、葉色は濃い状態です。
- 出穂期は、コシヒカリ8月2日頃、こしいぶき7月27日頃と平年並みの見込みです

7/18 現在の生育 (対生育指標値)

コシヒカリ 草丈：長い 茎数：並 葉数：並～やや遅い 葉色：濃い
こしいぶき 草丈：やや長い 茎数：並 葉数：並 葉色：濃い

	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稲塚	5/10	90	114%	100%	420	94%	96%	12.1	▲ 0.3	▲ 1.1	35.6	3.6	0.5	7/18調査
	南新保	5/11	86	109%	100%	306	69%	60%	11.4	▲ 1.0	▲ 1.2	36.6	4.6	3.3	7/17調査
	長崎	5/12	85	108%	100%	462	104%	104%	12.1	▲ 0.3	▲ 0.3	35.6	3.6	▲ 0.7	7/17調査
	上百々	5/19	92	116%	106%	482	108%	114%	11.6	▲ 0.8	▲ 0.5	37.0	5.0	4.8	7/17調査
	平均		88	111%	101%	418	94%	92%	11.8	▲ 0.6	▲ 0.8	36.2	4.2	2.0	
	関山	5/17	79	118%	107%	529	139%	119%	11.7	0.5	0.0	38.4	5.4	8.3	7/18調査
こしいぶき	下稲塚	5/10	80	107%	93%	438	107%	94%	13.2	0.2	0.0	38.5	3.5	▲ 4.2	7/18調査
	長崎	5/13	78	104%	96%	359	88%	79%	12.9	▲ 0.1	▲ 0.4	41.3	6.3	▲ 1.6	7/17調査
	平均		79	105%	94%	399	97%	87%	13.1	0.1	▲ 0.2	39.9	4.9	▲ 2.9	

2 今後の管理

(1) コシヒカリの穂肥 (追肥) について

- 平坦地の5月10日～15日頃の田植で8月2日頃が出穂期見込みのほ場では、7月23日頃が2回目の穂肥時期となります。
- 今後の高温気象に備え、2回目の穂肥を確実に施用する。2回目の穂肥量は窒素成分で1～1.5kg/10aがめやすです。
- 全量基肥肥料を施用したほ場でも、出穂期までに葉色が低下した場合は追肥する。化学肥料100%全量基肥肥料の栽培で出穂期までにSPAD値が32を下回る場合は、出穂期10日前までに窒素成分で1kg/10aをめやすに施用する。

(2) 早生品種の穂肥 (追肥) について

- 梅雨明け後の気象によっては葉色が急激に低下することがあります。2回目の穂肥後や全量基肥施肥でも出穂期に期待する葉色値を下回ると予想される場合は、窒素成分で1kg/10aをめやすに施用する。

(3) 水管理について

- 出穂・開花期以降も飽水管理を継続し、完全落水は出穂期25日後以降とする。
- フェーンが予想された場合は、あらかじめほ場にかん水し高温被害を回避する。

(4) 病害虫について

- 上越地域の各地で葉いもちの発生が確認されています。いもち病に弱い品種や常発地などでは、ほ場を観察していもち病の病斑が認められたらすみやかに薬剤防除する。

3 熱中症予防について

農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなど熱中症予防に十分注意してください。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当 (電話025-526-9406)